

第1回 浦昭二記念賞 選定記

浦昭二記念賞選定委員会「
委員長 竹並 輝之

第1回浦昭二記念賞の表彰式が、11月12日（土）に富山国際会議場で開かれた全国大会・研究発表大会の会場で行われました。

昨年設立が決定された浦昭二記念賞は、情報システム学会の設立に力を尽くされた故浦昭二先生（慶應義塾大学/新潟国際情報大学 名誉教授）の情報システム学確立に向けた熱意と功績を記念して、情報システム分野で社会に貢献している個人や組織を表彰することにより、当学会が掲げる人間中心の情報システムの考え方の普及に努めることを目的とするものです。論文賞、実践賞、特別賞、功績賞に分けられます。浦昭二記念事業で集まった寄付を基金として、毎年表彰を継続してゆきます。

記念すべき第1回は、学会員から推薦のあった5件のなかから選定委員会が厳正に審査した結果、「患者志向情報システム開発・活用による地域医療への貢献」と「コンピュータ概論——情報システム入門（第6版）の出版と継続的な情報リテラシ教育の実践」の2点が選定され、伊藤重隆会長から表彰状、表彰盾、賞金が授与されました。

（1）実践賞「患者志向情報システム開発・活用による地域医療への貢献」

合同会社 水野薬局

1964年に初めて調剤薬局を開設して以来、患者記録の収集、保存、活用の必要性について訴求し、1980年に業界初の患者志向薬局システムを実現し、以後RFIDを活用したトレーサビリティの導入、膨大な患者記録を活用し処方箋受付時に副作用などの警告を発するシステムの開発など改善を継続し、当システムを他社にも販売するなど患者（人間）を重視した情報システムを長期にわたり提供し、地域、社会に貢献していることは表彰に値する。

参考：水野薬局ホームページ

（2）実践賞「コンピュータ概論——情報システム入門（第6版）の出版と継続的な情報リテラシ教育の実践」

魚田勝臣（代表：専修大学名誉教授）、渥美幸雄（専修大学）、植竹朋文（専修大学）、大曾根匡（専修大学）、森本祥一（専修大学）、綿貫理明（専修大学）、石井徹也（共立出版）

コンピュータの仕組みやプログラミング、パソコン操作が中心の情報リテラシ教育用教科書が多い中であって、情報の重要性を説き、情報システムは社会、組織体または個人の活動を支える適切な情報を収集し、加工し、伝達するための、人間活動を含む社会的な仕組みであるという定義に基づき、情報システムを学ぶことが重要であり、コンピュータやネットワークはそれを構成する要素であるとの立場を明確にした教科書を提供し続けている。情報通信技術の進展に伴い、第6版まで改定を続けるとともに、学生が学習意欲を持続するような構

成、教育法を工夫していることも表彰に値する。

参考：魚田勝臣ほか「コンピュータ概論——情報システム入門」第6版

共立出版 2014

来年度も6月ごろ表彰対象案件の推薦を募集する予定ですので、会員の皆様の積極的な推薦をお願いします。推薦に当たっては「浦昭二記念賞選定規程」を参照してください。

<http://www.issj.net/kitei/urashouji-kinen-kitei.html>

全国大会・研究発表大会及び浦昭二記念賞表彰式に関するプレスリリースは以下をご参照ください。

CNET ニュース

<http://japan.cnet.com/release/30167200/>

zdnet ニュース

<http://japan.zdnet.com/release/30167200/>

朝日デジタルニュース

http://www.asahi.com/and_M/information/pressrelease/CNRAI30167200.html?iref=

以上